

日本建築構造技術者
協会東北支部（J S C
A 東北、加藤重信支部
長）と全国鉄構工業協
会青年部会東北ブロッ
ク（佐藤文宣会長）は
このほど、共催で「鉄
骨建物の設計施工問題
意見交換会」を仙台市
の戦災復興記念館で開
催。5回目となる今回

者は「鉄骨詳細図を製作して者と一緒に考えるⅡ」と題し、鉄骨構造図面に盛り込まれた問題点を抽出・解決し、要求性能を落とさずに鉄骨製作・運搬・建て方が可能となる提案を検討した。

冒頭、加藤文部長の積極的な参加意欲が、この場を準備いただいた関係者に感謝申上げる。課題を通じてされた意見を吸収し、今後に生かしてほ

出はええええ
い」と挨拶した。
佐藤会長は鉄骨アーチ
ブリケーターの現況に
触れ「整然感が続く中、
足元は高力ボルト不足
やコラムの品薄感が顕
在化しているが、新商
品による省力化・工期
短縮は可能だ。忙しい
状況はそう長くは続か
ないので、鉄骨造でで

良質な鉄骨造へ理解深める

設計施工問題で意見交換会

J S C A 東北と全構協青年部会東北

きるものは設計変更なしで対応していただきたい。鉄骨需要はまだ引続き協力していく」と述べた。

この後、提案検討に移り、八つの混成チームに分かれて課題に取り組む。



A black and white photograph showing a group of people in a workshop or laboratory setting. In the center, a man wearing a dark suit and glasses is pointing towards a device or model on a table. To his left, another man in a dark suit and glasses is looking down at the table. To his right, a man in a dark shirt and glasses is also looking at the device. In the foreground, a woman in a dark blazer and light-colored pants is looking down at the table. The background shows a whiteboard with Japanese text and other people working in the distance.

り組み、その後、成果発表を通じて活発に意見交換した。